報道関係各位

Ministry of Agriculture, Forestry and Fisi

「農山漁村」インパクト創出ソリューション 実装プログラムを開始します!

~農山漁村の課題解決に向けた取組を全国から募集~

農林水産省は、5月20日から6月23日までの期間、農山漁村の課題解決を通じて、社会的・環境的な変化や効果(インパクト)を創出し得る取組(「農山漁村」インパクト創出ソリューション)を全国から募集します。

選定された取組について、自治体等とのマッチング及び伴走支援を通じて、当該「農山漁村」インパクト創出ソリューションの実装を図ります。

1. 概要

- ① 農山漁村の課題解決を通じて、社会的・環境的な変化や効果を創出し得る 良質な取組を幅広く募集し、10個程度を「農山漁村」インパクト創出ソリ ューション(以下「インパクト・ソリューション」という。)として選定。 ※インパクト・ソリューションは、7月中旬に開催予定の「農山漁村」経済・ 生活環境創生プラットフォーム第2回シンポジウム(仮)にて公表。
- ② インパクト・ソリューションの農山漁村現場への実装に向け、地域の課題解決に活用を希望する自治体等を募集し、ソリューション提供企業等とマッチング。
 - ※事務局が募集のあった自治体等とともに課題の深掘りや整理を行い、選 定した企業等を紹介。
- ③ 自治体等とソリューション提供企業等の相互理解の促進や、事業化に必要な資金調達及び人材確保に係る方法提案など事務局が伴走支援。
 - ※伴走支援では、関係者間での目標のすり合わせや合意形成を円滑に進めるため、各事業によって創出が見込まれるインパクトを予見的に可視化す

るためのロジックモデルの作成も実施。

④ 伴走支援期間(令和7年度末まで)において、1インパクト・ソリューションにつき3地域のマッチングを目標に、本プログラムを実施。(マッチングとは、来年度以降の共創に向けた資金調達方法も含めた取組の方向性が決定されている状態。)

<参考>本プログラムのスケジュール

5月20日	募集開始		
6月23日	応募締切※18 時まで		
7月上旬	ソリューション提供企業等への通知		
7月中旬	シンポジウムでの公表・ピッチ登壇		
7月下旬	活用希望自治体等の募集		
7月下旬~	活用希望自治体等の課題整理		
8月末			
9月末	ソリューション提供企業等と活用希望自治体等の一次面談		
	実施		

2. 選定対象

農山漁村における課題を解決できる取組 10 個程度

3. 応募要件

- ① 農山漁村における課題を解決できる取組を展開していること。
- ② 自治体等との共創に関する実績や関心があること。
- ③ 事業期間を通じて課題解決に取り組む体制を整備できること。
- ④ 法人格を有すること。

等

4. 募集スケジュール

5月20日(火曜日) 募集開始

6月23日(月曜日) 18時応募締切

7月中旬 インパクト・ソリューションの公表(予定)

5. 募集•選定要項

応募に係る手続きは、募集・選定要領をご確認ください。

6. 選定方法

有識者から構成される選定委員会のもと、評価項目を総合的に勘案し、審査を行います。

その際、全ての項目を高水準に満たす事業者に加えて、実現可能性や実績にかかわらず課題設定や課題構造の理解が著しく高い取組も一定数「チャレンジ枠」として選定します。

「農山漁村」インパクト創出ソリューション実装プログラム 選定委員会委員名簿

7. 農山漁村の課題解決によるインパクトについて

農山漁村は、国民に安定的に食料を供給する基盤としての役割を果たすだけでなく、洪水・土砂崩壊防止や生物多様性の保全、地域社会の振興等の多面的な機能を持っています(※)。そのため、農山漁村の人口減少から生じる課題は、都市部へも大きな影響をもたらす可能性があり、都市部を含む社会全体や企業にとっても共通の課題と言えます。

農林水産省では、令和6年度、農山漁村の課題解決につながるインパクトを

7つに分類・特定するとともに、それぞれの課題の分析や課題解決に向けた取組の類型化を行い、「『農山漁村』インパクト可視化ガイダンス」としてとりまとめました。

※日本学術会議「地球環境・人間生活にかかわる農業及び森林の多面的な機能の評価について(答申)」より

インパクト	SDG s	FAO SAFA Guidelines	GRIスタンダード
①地域経済の活性化	8 ::::: 17 :::::::: 18 ::::::: 18 ::::::::::	経済(投資/地域経済 /製品の品質と情報)、 社会(適正な生活)	地域・住民・従業員(生活収入と生活賃金/経済的包摂/雇用慣行 / 地域社会)
②農山漁村の持続可能 な生活環境の維持	3 :::::: 11 ::::::::::::::::::::::::::	環境(生物多様性/材料とエネルギー/大気/水)、社会(適正な生活)	環境(生物多様性/土壌の健康/ 水と排水/廃棄物/自然生態系 の転換)、地域・住民・従業員(土地 と資源の権利/地域社会)
③ウェルビーイング向 上	3 ::::: 5 :::::::::::::::::::::::::::::	社会(適正な生活/人間の健康と安全/公平性/労働権)	地域·住民·従業員(生活収入と生活賃金/労働安全衛生/食糧安全保障/地域社会)
④気候変動の緩和	12 13 14 15 15 15	環境(大気/水/土地 /生物多様性)	環境(排出/生物多様性/自然生態系の転換/土壌の健康/農薬の使用/水と排水/廃棄物)
⑤気候変動への適応	15 sum 15	経済(人間の健康と安全/製品の品質と情報)	環境(気候変動への適応と回復力 /食糧安全保障/食品安全)
⑥ネイチャーポジティ ブ	17 minute 18 minute 19 minute	環境(生物多様性/土地/動物福祉/大気/水)	環境(排出/気候変動への適応と回復カ/生物多様性/自然生態系の転換/土壌の健康/農薬の使用/水と排水/廃棄物)地域・住民・従業員(動物の健康と福祉)
⑦農山漁村における災 害レジリエンスの向上	13	経済(脆弱性)、社会 (人間の健康と安全)	環境(気候変動への適応と回復力)、 地域・住民・従業員(労働安全衛生 /公共政策/地域社会)

注釈:特定した7つのインパクトとそれらに関連する国際的指標

https://www.maff.go.jp/j/nousin/nousangyosnn_sousei_pj/impact.html

8. シンポジウムの開催について

1. 概要のとおり、インパクト・ソリューションの公表を予定している「『農山漁村』経済・生活環境創生プラットフォーム第2回シンポジウム(仮)」を以下のとおり開催いたします。

4

詳細については6月中旬に公表予定です。

「農山漁村」経済・生活環境創生プラットフォーム第2回シンポジウム(仮)

日時:令和7年7月中旬 13時00分から17時30分まで

会場:農林水産省7階講堂(web 併催) 所在地:東京都千代田区霞が関1-2-1

9. 関連サイト

・「農山漁村」インパクト創出ソリューション実装プログラム(外部リン

ク)

https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000138.000046389.html

・「農山漁村」インパクト可視化ガイダンス https://www.maff.go.jp/j/nousin/nousangyosnn_sousei_pj/impact.html





お問合せ先

農村振興局農村政策部農村計画課農村活性化推進室

担当者:安居、井上、内田、刀井 代表:03-3502-8111 (内線 5444)

ダイヤルイン:03-6744-2141